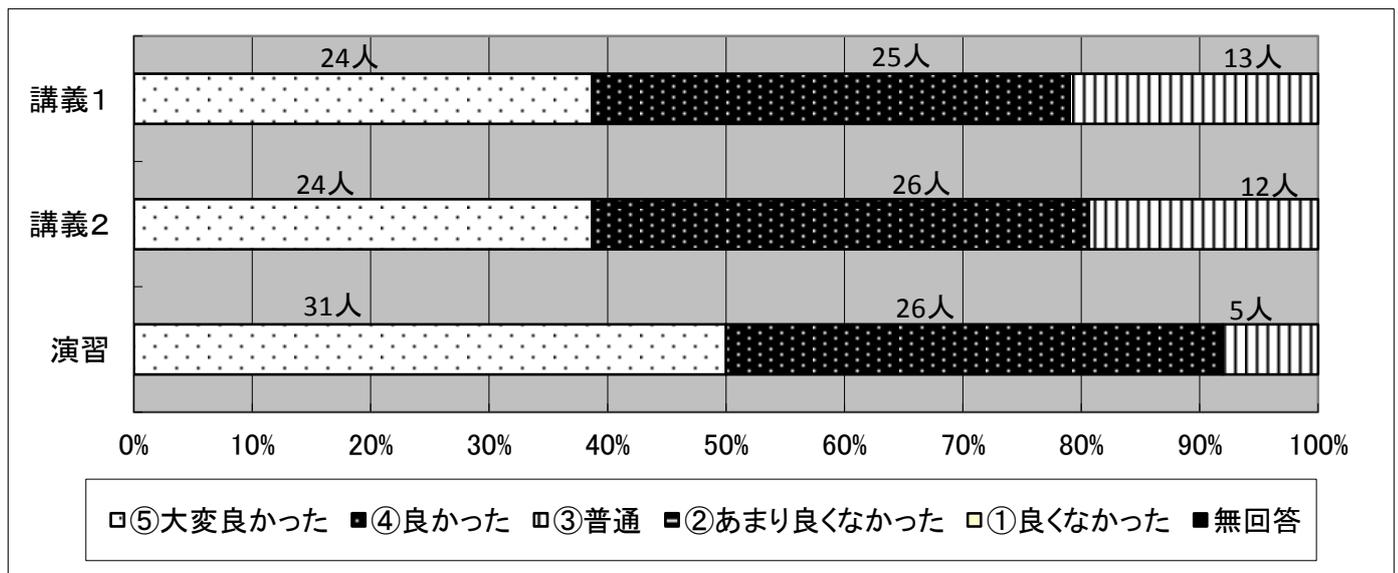


平成27年度長野県福祉サービス第三者評価調査者継続研修 アンケート集計結果

アンケート回収人数 62人/67人 (回収率92.5%)

1 各プログラムの感想

科目	⑤大変良かった	④良かった	③普通	②あまり良くなかった	①良くなかった	無回答
	実数(人)	実数(人)	実数(人)	実数(人)	実数(人)	実数(人)
	比率(%)	比率(%)	比率(%)	比率(%)	比率(%)	比率(%)
講義1 「第三者評価の現状と課題」	24	25	13	0	0	0
	38.7%	40.3%	21.0%	0%	0%	0%
講義2 「保育所における第三者評価の受審について」	24	26	12	0	0	0
	38.7%	41.9%	19.4%	0%	0%	0%
演習 「訪問調査のロールプレイ」	31	26	5	0	0	0
	50.0%	41.9%	8.1%	0.0%	0%	0.0%



自由意見

(1) 講義1「第三者評価の現状と課題」

短時間の中で要所が分かりやすくまとめられていた。
最新の事業について知ることができた。
長野県の評価取組の現状がよく解りました。
ポイントをついたお話でよく理解できました。
第三者評価の現状として、まだ周知されていないなど、厳しい状況もわかり評価者として勉強しなければと思います。
具体的に理解でき、今後の仕事に向け活用できます。
現状と社会的変化による状況が良く理解できました。

(1) 講義1「第三者評価の現状と課題」 つづき

岡田講師の講演はとてもわかりやすく理解できた。(岡田先生のような方に評価されれば施設側も納得だろうと いつも思う。)
盛りだくさんだったが、わかりやすかった。
福祉の変改の流れが変わる事がわかった。
今後について理解できました。
全般にわたって分かり易く説明をしていた。
良いです。でも早さについていくのが大変です。
第三者評価の課題を、将来を見通して指摘されていた。
国の方針がいろいろに変わっているのもう少し時間をかけて説明してほしい。
社会福祉行政をめぐる全体的な流れが明確に理解できた。
知らなかったことを把握することができた。でも、もう少し詳しく聞きたいと思った。
大変良い
資料配布、説明が簡潔で良かった。
もっと時間をかけて詳しくお願いしたい。
時間的に無理かと思うが、詳しく説明していただくとありがたい。
福祉の潮流の変化について窺い知ることができた。福祉分野だけで語れない時代の到来。
現状と課題についてとてもわかりやすく話していただき、今と今後の流れについて少しは理解できました。自分 の勉強不足もよくわかりました。
現状と課題の理解ができた。
個別の情報は入手していても全体として福祉の流れに結びつかなかったので参考になりました。
未知の情報を知ることができた
変更箇所がよく分かった

(2) 講義2「保育所における第三者評価の受審について」

短時間の中で要所がわかりやすくまとめられていた。
評価方法など理解できた(ガイドラインの使い方など)。
福祉サービス第三者評価制度の展望(方向性)に関して聴くことができ大変有意義でした。危機感をもって今後 の評価者としての使命を図っていきたい。
保育所の現状を知りました。
具体的に理解でき、今後の仕事に向け活用できます。
岡田講師の講演はとてもわかりやすく理解できた。(岡田先生のような方に評価されれば施設側も納得だろうと いつも思う。)
現状がわかった
難しい課題
再確認できました。
初めての内容でしたが、概要がつかめました。
良いです。でも早さについていくのが大変です。
具体的な事例を出して話してください。

(2) 講義2「保育所における第三者評価の受審ついて」 つづき

ガイドライン改定の経過、良く理解できました。考え方、留意点で評価がよりしやすと思います。保育所評価はしたことはありませんが、勉強になりました。
改正の要点がよくわかりました。
知らなかったことを把握することができた。でも、もう少し詳しく聞きたいと思った。
保育所専門性、評価への説明ができること、a、b、cの考え方
大変良い
細かな質問はまた県等に問い合わせをしていきたい。量がたくさんなのでゆっくりと読み込みをしたいと思います。
時間的に無理かと思うが、詳しく説明していただけるとありがたい。
保育所の評価をするにあたっての心構えについてが特に心に残りました。もう少し時間があるとよかったです。
保育所の理解を深めていかないと評価は困難と思われ、今後学んでいく必要があると痛感。
未知の情報を知ることができた
新しい情報としてよかった。

(3) 演習「訪問調査のロールプレイ」

具体的に、場面ごと、重要な部分を学べた。
実践的な演習で楽しんでできたほうだと思います。いろいろと気づかされる部分が多かったです。
演習内容が充実、事例内容も実践的であり大変有効でした。 岡田先生、ご苦労様でした。ありがとうございました。
質問の仕方の重要性について理解できた。
評価の経験が少ないので、質問づくりの演習は難しくロールプレイの演習、コメントの作成の演習も役に立ちました。
精神的負担が少なくてよかった。しかし、知識は深まりました。
いい点を評価しながら質問していく、とても難しいです。
個人ワークがじっくりできてよかったです。
勉強になった。
これまでの方法と異なり新鮮で、改めて気づきが得られてよかったです。ありがとうございました。次回もお願いいたします。
今回の演習は、コメント参考例も示され、インタビューのよい例、悪い例などのロールプレイにより自らを振り返ることもできた。とてもよい研修でした。
よく理解できました。上手な会話のキャッチボールの大切さが良く解りました。
少人数での検討で、話はずみ楽しくできた。インタビューでは今後の自分を見直しできた。
今までを反省する例題でよかったです。何を引き出すために質問をするか、もっと力をつけなくてはいけないと痛感しました。
少人数グループは話しやすい
シナリオ・ノートは初めてのことでしたが、一つの良い手法であったと思います。
難しいが良かったです。質問の仕方と答えが引き出せるか決まってくることに実感しました。できるよう努力したいです。

(3) 演習「訪問調査のロールプレイ」 つづき

具体的な場面で、評価者が和気あいあいとできた。
大変、評価の時に参考になる内容でした。
質問方法が理解できた。
自分のやり方を見直すことができた。今後のやり方に使っていきたい。
ロールプレイの訪問調査ではあるが、気づき、行っている状況を引き出すための話し方、質問の仕方について、反省すべき点が多かった。
岡田先生に感謝！良く工夫されていた。
質問につなげ方が分かりやすく、具体的に作り方がわかったと思います。
とても実務的に評価の書き方について研修があり、いつも迷っているので参考になりました。
いかに良い質問をするかが、いかに大切かよく分かりました。ワークシート1が基本。参考にしたい。とてもよい演習でした。
具体的で良い
事実のみで質問する悪しき例は参考になった。
初めての試みでしたが、違いがよく分かりました。それにしても、コミュニケーションスキルのアップをしなくてはと反省、「気づかないうちに」が残りました。
評価者だけでなく受審者の立場も経験し、理解を深めることができた。
少しリアリティーを感じられなかったが、テーマは理解できた。ワークシート1の作業は非常に良い訓練になりました。

2 継続研修の開催日について

① 平日開催がよい	43
② 土曜日がよい	7
③ 日曜日がよい	6
無回答	6

3 継続研修の開催時期について

① 現在の時期でよい	53
② 違う時期がよい	5
理由:	8月頃 研修行事が重なる 8月頃 (理由の記載なし) 5月頃 第三者評価があまり計画されていないから 6月頃 年度前半は評価に行くことが少ないので。年度中間より評価に行くことが多くなり忙しい。 月曜日はやめてほしい いつでもよい
無回答	4

4 今後希望する研修

毎回思うのですが、岡田先生の人柄の良さに感心です。研修会で学ぶ事がたくさんあります。本当にありがとうございました。
喜楽に受審できるようPRが必要。事業所はパーフェクトを目指して受審するのでb、cは付け難い。
今回の研修はとても学べました。ありがとうございました。
文章の作り方、日本語・言葉の使い方
今回の研修がとても良く、同じで結構です。
子ども支援員養成研修
障がい者施設に関する研修を希望します。
来年度もまた岡田先生にお願いします。のびのびと研修ができます。
実際の評価による事例として考察できる研修でより具体的な考え方を身につけたい。(訪問調査)時間内での質問、確認は難しい面もある、ポイントなども学んでいきたい。専門的な勉強も必要。
地域密着型施設評価研修
保育所をメインとした調査員の養成研修をしてほしい。
評価コメントの的確な文章表現の方法
ロールプレイトレーニング

5 継続研修についての要望

長野県の場合は新しい評価者を認証する研修が行われていないが、評価者を増やすことも必要ではないでしょうか
第三者評価廃止の話がありました。やはりそうか、といった思いです。受審者の求めるものと、答えを出すものではないという評価制度に隔たりがあります。その為、受審率が上がりませんね。気づきを与える為には、それ以上の力量が必要で、現場と共に一緒に考える時間と姿勢が大切だと思いますので、存続するためには方法等の検討が必要です。
岡田さんの講師でお願いしたい
今回のロールプレイ、質問作り等、大変学ぶ事が多かったです。この事実から→仮説を立て→目的→質問文を作成する手順はわかりやすかったです。
プレッシャーを感じさせない様な研修を希望します。
発表した内容に講師がコメントしてくれた場合は、その内容を含めて資料として配布してほしい。日を改めて後日機関を通じてコピーを配布する等工夫してもらい配布できるようにしてほしい。資料に2か所穴が開いていると助かる。特に厚い資料はお願いしたい。
研修の方法を忘れないうちに実践できると見つけと思うが、年1回の研修のみだと見につかない。
引き続き岡田先生で。福祉を取りまく情勢が変わっていますので、毎回分かりやすい現状の説明、お願いします。
評価員の質の向上を云々するのであれば受審事業所数を増やすようにして欲しい。第三者評価のステイタスを上げるためにも量は必要。
駐車場のある施設で行ってください